

SKF 放電チェックペン TKED 1

ユニークな方法で、確実、安全に放電を検知

SKF放電チェックペン (EDDペン) は、手持ちサイズのコンパクトな機器で、電気モーターのベアリングの中で発生する放電を、簡単な操作にて検出できます。

放電は、モーターシャフトの電圧が、ベアリングを通じてアースへ流れる状況から発生します。それは、電食や潤滑油の分解を引き起こし、ベアリングが損傷します。

電気モーターが可変周波数運転システムによってコントロールされている場合、ベアリングは放電による侵食を受けやすくなります。

予知保全プログラムとしての放電チェックペンは、不具合が起こりそうなベアリングを検知し、予期しない機械の故障によるダウンタイムを未然に防ぐことができます。

- モーターより離れた安全な場所からの遠隔操作が可能です。
- 密接した幾つもの機械の中から、不具合の発生した機械を簡単に検知することができます。
- SKFの独自技術として、現在特許出願中。
- 二つのボタンで簡単に操作できますので、特別なトレーニングをする必要がありません。
- フリー、10秒、30秒の時間ベースで電気放電を検知することができます。
- LED によるバックスクリーンにより、暗い環境でも鮮明に見ることができます。
- 多くの産業環境で使用することができる、IP 55 を取得。
- 標準品にはバッテリーが含まれます。予備アンテナと説明書はキャリーケース内に付属しています。



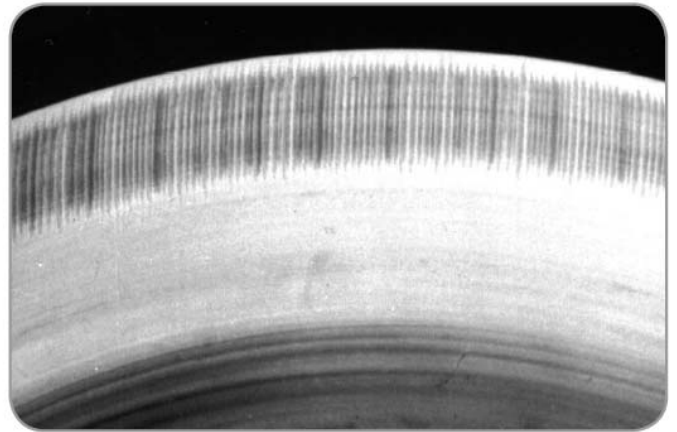
テクニカルデータ

型番	TKED 1
名称	SKF 放電チェックペン
電源仕様	4.5V - 3 本 × 単 4 電池 (LR03, AM4)
計測時間設定	任意設定 10、30 秒 不設定 フリー
動作可能温度	保管温度 0° ~ 50 °C -20 ~70 °C
IP レベル	IP 55 (防塵形、防噴流)
ディスプレイ画面	液晶表示可能範囲：0 - 99999 バックライトの選択可能、低バッテリー残量の警告
キャリーケースのサイズ (w × d × h)	255 × 210 × 60 mm
総重量	0,4 kg





放電による潤滑油の分解



放電による侵食を受けたベアリングの溝模様